

# 2022年度 データヘルス計画

## 1. 実施状況

※特定健診・特定保健指導の実績確定は翌年11月であり、( )内の数値は令和3年度値

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的及び概要	対象			事業費(千円)	実施状況・時期			注2) 評価	
				資格	対象事業所	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因
特定健康診査事業	1	特定健診	[目的] 生活習慣病予防・改善 [概要] 特定健診・定期健診を含む人間ドックを受診	被保険者	全て	40~74	全員	118,375	受診者 18,009人 (R3:98.6%) 4~3月実施	平成7年度より事業主と共同で40才以上被保険者に人間ドック受診義務制度を設けた	退職後継続加入者が100%受診できていない。	4
	1	特定健診	[目的] 生活習慣病予防・改善 [概要] 特定健診を含む家族健診、又は人間ドックを受診	被扶養者	全て	40~74	全員	38,672	受診者 5,935人 (R3:93.3%) 4~3月実施	平成7年度より事業主と共同で家族健診受診義務制度を設けた	被保険者と比較し受診率が低い	5
特定保健指導事業	3	特定保健指導	[目的] 生活習慣病予防・改善 [概要] 人間ドック受診健診機関を主に、その他、事業所訪問指導・ICT・健保保健師等で実施	被保険者	全て	40~74	基準該当者	30,204	動機づけ支援 900人、 積極的支援 1,011人 (R3:45.1%) 4~3月実施	・勤務時間内の実施 ・健保保健師の活用 ・母体医務室で実施 ・特保未契約の契約施設に契約の依頼 ・契約施設に指導実施の強化を依頼 ・ICTの活用	・希望制であり、国の目標55%に対し受診率が低い ・勤務時間中の指導は限定される ・新型コロナで一時停止	4
	3	特定保健指導	[目的] 生活習慣病予防・改善 [概要] 家族健診の集団健診委託先、又は人間ドック受診先で指導を実施	被扶養者	全て	40~74	基準該当者	1,772	動機づけ支援 98人、 積極的支援 45人 (R3:14.7%) 4~3月実施	・特保未契約の契約施設に契約の依頼 ・契約施設に指導実施の強化を依頼 ・静岡連合会共同事業に参加	・希望制で受診率が低い ・健保予約健診・人間ドック以外では特保の実施が困難	4
	7	メタボ改善案内	[目的] 生活習慣病の自主的改善を促す [概要] 新40才・前年特保該当者に特保案内を個別配布	被保険者	全て	40~74	基準該当者	21	新40才926人、前年特保3,657人 4~3月実施		自主的取組みを促すものであり、成果等の把握が困難	1
保健指導宣伝	4	健康講話	[目的] 生活習慣改善等の知識の拡大 [概要] 健保主催の講話の他、事業所開催の健康講話に費用や資料代を助成	被保険者	全て	18~74	全員	0	申請(実施)0回 0人 助成0回 随時		・新型コロナで開催なし ・事業所の開催依頼がない	1
	4	機関紙の発行	[目的] 情報発信、健康意識の高揚 [概要] 機関紙「健保だより」を発行	被被扶養者	全て	0~74	全員	69	内部作成で11回発行 920部/回 随時	部門別健康度ランキング等身近な話題を提供し、健康意識を高めた	職場回覧とHPへの掲載のみ	5
	5	ホームページの更新・運用	[目的] 健保制度等の周知 [概要] 法改正やお知らせ、公告等を2つのHPを活用して周知	被被扶養者	全て	0~74	全員	1,392	母体社内イントラと一般の2つのホームページを更新・運用 4~3月	・更新回数の意識的増加 ・リニューアルによるセキュリティ強化とスマホ対応	職種により社内HP内の健保HPは見られない	5
	5	制度周知本の配布	[目的] 新入社員に健康保険制度の周知 [概要] 「社会保険の知識」を配布	被保険者	全て	18~28	基準該当者	411	新入社員、及び事業所担当者に配布 3~4月		2019年度より冊子を変更	4
	5	健診後フォロー	[目的] 生活習慣病予防・改善、並びに重症化予防 [概要] 個人面談の他、パンフレット配布、電話相談を実施。ドック結果に基づく健康情報を1月より配布。また各種健診後の受診調査を実施	被被扶養者	全て	18~74	基準該当者	108	個別面談3社85人、パンフレット配布49人、電話相談66人。社員:ドック後再検査対象2,316人(受診率86.1%)、家族:健診後再検査対象478人(受診率76.8%) 4~3月実施(再検:5/10現在)	社員のドック後再検査は、事業主との共同事業であり、グループ方針	スズキ㈱を除き、事業所単位での取組みが弱い	4

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的及び概要	対象			事業費(千円)	実施状況・時期			注2) 評価		
				資格	対象事業所	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因	
保健指導宣伝	5	前期高齢者健診後フォロー	[目的] 重症化予防 [概要] 各種健診後の受診調査	被扶養者	全て	60~74	基準該当者	24	各種健診後の再検査調査対象121人(受診率88.4%) 随時(5/10現在)	未受診者には電話による督促を実施	血圧・糖検査での未受診が多い	4	
	5	メンタルヘルス推進サポート	[目的] 精神疾患の対応と予防 [概要] 母体精神科産業医の行う相談に費用の一部を助成	被保険者	母体	18~74	基準該当者	0	停止(停止前と同様の利用体制で母体が負担)		・母体本社のみ の取組み。 ・利用者が同じ 場合がある ・契約終了により 停止	2	
	7	禁煙推進サポート	[目的] 喫煙に伴う 関連疾病の削減 [概要] 禁煙外来を 受診し、禁煙達成者 に費用の一部を助成	被保険者	全て	18~74	基準 該当者	8	禁煙外来:助成1 人/申請2人。事業 PRの他、新入社員 ・特定保健指導 配布時等にも広報 4~3月実施	期間4~9月を通 年に変更 (前年度申請分を 含む)	・タバコ値上時 は助成が急増 したが、現在は 参加者が少数 ・チャンピク スの供給停止	4	
	7	医療費適正化対策	[目的] 医療費削減 [概要] レセプト点 検は、実績のある専 門業者に委託	被被扶養者	全て	0~74	全員	1,341	レセプト点検委託 :745,499件、年間 医療費通知:R3年 19世帯、R4年948 世帯、支給決定通 知:5,042部、療養 費通知60部 4~3月実施	ロジック点検は 経験値が増え実 績がアップ	要配慮個人情報 のため、外部 への持出し 点検を中止	5	
疾病予防	1	人間ドック	[目的] 健康状態の 確認、並びに疾病の 早期発見・早期治療 [概要] 年度1回、誕生 月に受診	被保険者	全て	40~74	全員	428,477	受診者18,097人 (40未満88人含) 4~3月実施	平成7年度から スズキグループ 方針として100% 受診を目指す	再雇用初年度の 4~6月生が 年度2度受診 となる	4	
	1	家族健診	[目的] 健康状態の 確認、並びに疾病の 早期発見・早期治療 [概要] 年度1回、集 団健診・個人健診に て受診	被扶養者	全て	40~74	全員	54,605	受診者6,169人 (ドック受診 1,191人含、内 40才未満43人) 4~3月実施	平成7年度から スズキグループ 方針として100% 受診を目指す	新型コロナに よる受診控え	5	
	1	歯科健診	[目的] 口腔内の健 康状況の確認、並び に歯周疾患の早期発 見・早期治療 [概要] 年度1回、誕 生月に受診	被保険者	全て	40~74	全員	37,759	受診者12,677人 4~3月実施	平成9年度から スズキグループ 方針として100% 受診を目指す	当初のかかり 付け歯科医で の健診から集 団健診にずれ が発生	3	
	1	婦人科検診	[目的] 婦人科疾患の 早期発見・早期治療 [概要] 希望者に乳 癌・子宮癌検診費用 を助成	被保険者	全て	18~74	全員	7,716	受診者1,506人 4~3月実施	40才以上は、人 間ドック受診時 に合わせて受診			4
	1	二次検診	[目的] 利便性考 慮、医療費削減 [概要] 母体医務室 での血液・尿の検査 を中心に、検査費用 を負担	被被扶養者	母体	18~74	基準 該当者	14	受診者33人 (被保険者32人、 被扶養者1人) 4~3月実施	血液・尿の検査 は、勤務時間内 に対応が可能	・血液・尿を中 心とした検査 は、母体のみ の対応となる ・空腹時での 呼出し不可	4	
	7	家庭用常備医薬品の斡旋配布	[目的] 軽微な疾病は 常備医薬品で対応し、 医療費削減に繋げる [概要] 応急処置用 として常備医薬品を 斡旋配布	被被扶養者	全て	0~74	全員	893	購入者: 7月6,664人、 12月6,452人 7~12月配布	特納品を多く採 用し、割安感を出 した 特別価格商品 を用意	子供は医療費 助成で常備薬 を購入しない	5	
	7	健康表彰	[目的] 健康者への インセンティブとし て実施 [概要] 平成31年4月 ~令和2年3月の 未受診世帯を表彰	被被扶養者	全て	40~74	全員	316	表彰世帯:319世 帯。購入補助券利 用96人。未利用者 223人にプラクリ ン歯ブラシ・ケア リーヴ・ニューウ レアクリーム20% を送付 12月配布		常備医薬品斡 旋時の購入補 助券に変更し たが利用者は 少ない	5	

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的及び概要	対象			事業費(千円)	実施状況・時期			注2) 評価	
				資格	対象事業所	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因
疾病予防	7	ジェネリック医薬品	[目的] 薬剤費削減 [概要] レセプトより、500円以上の切替効果のある被保険者	被被扶保養険者者	全て	18~74	基準該当者	1,087	通知3,298人、効果額2,011千円 6・10・1月配布	対象年齢・対象疾病の拡大	子供は医療費助成でジェネリックを敬遠	1
体育奨励	7	ウォーキング	[目的] ウォーキング習慣の定着と健康度アップ [概要] 職場・事業所単位の6km以上のウォーキングに対し費用を助成	被被扶保養険者者	全て	0~74	全員	54	スズキ1工場 107人 4~3月実施対象		新型コロナで開催減少	1
その他	7	固定施設	[目的] 体位向上、疾病の一次予防、ストレスの発散 [概要] 保有する体育館・グラウンドを利用し、目的を達成する	被被扶保養険者者	一部の事業所	0~74	全員	1,005	・スズキ体育館0人、 ・スズキグラウンド0人 4~3月実施対象	管理・運営を母体に依頼	・利用者が限定 ・新型コロナで令和元.7.31より休止	4

注1) 1. 健康診査 2. 健康診査後の通知 3. 保健指導 4. 健康教育 5. 健康相談 6. 訪問指導 7. その他

注2) 1: 40%未満 2: 40%以上 3: 60%以上 4: 80%以上 5: 100%以上